

マリンレジャーで世界から注目される大洗へ OARAI INTERNATIONAL FISHING FESTIVAL

【大洗インターナショナルフィッシングフェスティバル】



ひたちなか大洗
リゾート構想



- 県では、ひたちなか大洗地域の豊かな観光資源を結びつけ、おしゃれで洗練されたリゾートを目指す「ひたちなか大洗リゾート構想」を、関係機関と連携して推進しています。
- 世界的にも富裕層に人気のマリンレジャーであるカジキ釣り大会を中心とした総合イベントを開催することで、ひたちなか大洗エリアの魅力を国内外に発信していきます。

2022年の大会概要

《名称》

OARAI INTERNATIONAL FISHING FESTIVAL

(大洗インターナショナルフィッシングフェスティバル)

《主催》大洗インターナショナルフィッシングフェスティバル実行委員会

大会会長：茨城県知事 大井川 和彦

大会副会長：大洗町長 國井 豊

【構成員】

〔 茨城県、大洗町、(一社)大洗観光協会、大洗町商工会
茨城ポートオーソリティ、茨城ビルフィッシュトーナメントネットワーク 〕

《日程》2022年8月27日(土)～8月28日(日)

(8月26日(金)に前夜祭)

《内容》

カジキ釣り国際大会を中心に、陸上イベントとの一体感を持たせた総合イベント

＜カジキ釣り国際大会＞

『Oarai International Billfish Tournament』

・日本初の海外から参加可能 ・賞金制を導入

＜陸上イベント＞

・一般客を呼び込むためのコンテンツ充実

〔 カジキイベント(解体ショー、体験) ステージイベント、
飲食ブース、エアショー、花火 等

・SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」取組推進のためのコンテンツ

＜参考＞これまでの大会実績

「茨城ビルフィッシュトーナメントin大洗」

《主催》茨城ビルフィッシュトーナメントネットワーク

大 会	参加 隻数	釣 果
第1回(2006年)	28隻	26匹
第2回(2007年)	33隻	56匹
第3回(2008年)	45隻	120匹
第4回(2009年)	61隻	19匹
第5回(2010年)	57隻	3匹
第6回(2012年)	22隻	42匹
第7回(2013年)	55隻	24匹
第8回(2014年)	62隻	21匹
第9回(2015年)	70隻	6匹
第10回(2016年)	台風で中止	
第11回(2017年)	55隻	8匹
第12回(2018年)	43隻	7匹
第13回(2019年)	47隻	15匹

※2020年・2021年はコロナで中止

大洗のカジキ釣り大会を新たな総合イベントへ

- カジキ釣りは富裕層まで訴求できる貴重なレジャー資源
- 日本有数のカジキ漁場である大洗町では、2006年からカジキ釣り大会を開催
(地元の遊漁者団体が主催し、大洗マリーナを拠点に、毎年8月最終土日に開催)
- 国内メジャートーナメントの一つで、たくさん釣れると注目度が高い大洗のカジキ釣り大会を、カジキ釣りファンにとどまらない**幅広い層に訴求する総合イベント**に

国内外へ訴求できる大会へ

- 日本初の海外から参加**を実現 ⇒海外大会の実力者を招聘
- 賞金制**の導入

幅広い層が楽しめる総合イベントへ

- 釣りファンから家族連れまで、カジキ釣り大会参加者以外の観客を含めた幅広い層を呼び込むため**イベントコンテンツを充実**
(カジキイベント(解体ショー、カジキメニューの提供)、釣り体験、ステージイベント、エアショー、飲食ブース、花火、クルージング体験など)

地域ぐるみのイベントへ発展させ、茨城の水産海洋産業もPR

- 県、町、釣り団体、マリーナ管理者などによる**官民一体となった大会運営**へ
- 水産庁、海保、漁協、地元高校等との連携も目指す

2022年のイベント開催イメージ



外国人参加



メディアでの取り上げ



ステージイベント



グルメイベント



SDG s 取組推進



賞金制導入



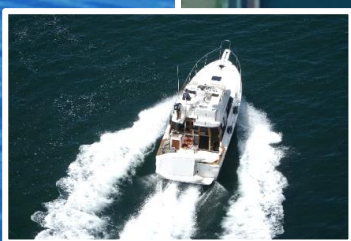
前夜祭



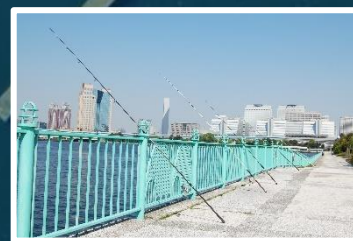
検量式



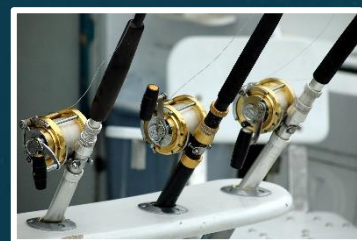
カジキ解体ショー



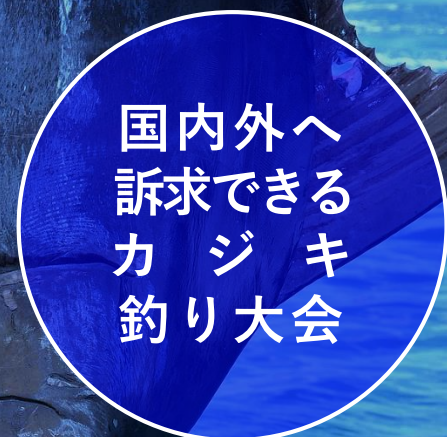
クルージング体験



堤防釣り大会



釣り用品ブース



幅広い層が楽しめる総合イベントへ



花火



エアショー